

「高齢誤嚥性肺炎患者における入院中フレイル悪化の関連因子の検討」について

加古川中央市民病院リハビリテーション部では、現在、呼吸器内科に誤嚥性肺炎で入院した患者さんを対象に表題の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

本研究では、誤嚥性肺炎で入院した高齢患者さんにおいて、入院中に身体機能を悪化させる因子を明らかにします。この因子を明らかにし、早期リハビリテーション（以下リハビリ）の介入方法の再考につなげます。

【研究期間と対象患者】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日

対象患者：2020 年 1 月から 2024 年 12 月に当院の呼吸器内科に誤嚥性肺炎の診断で入院治療を受けた 65 歳以上の患者様の診療録より以下の情報を取得いたします。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

- ①患者情報：診断名、年齢、性別、併存症、Charlson Comorbidity Index、入院前居住地、入院前CFS
- ②入院時状況：入院時採血（CRP、Alb、BUN、Cre、eGFR）、肺炎重症度（A-DROP）、入院時機能的経口摂取尺度（Functional Oral Intake Scale: FOIS）
- ③治療経過：在院日数、リハビリ処方の有無、リハビリ単位数、リハビリの進捗状況、入院からリハビリ介入までの日数、リハビリ処方からリハビリ介入までの日数、リハビリでの離床状況
- ④退院時評価：退院時FOIS、退院時CFS、転帰、退院理由

【個人情報保護の方法】

プライバシー保護に配慮し、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないように研究対象者識別番号リストを作成して加古川中央市民病院の6階リハビリテーション室の鍵のかかる保管庫で管理します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

【試料・情報等の保存・管理責任者】

加古川中央市民病院 リハビリテーション部 責任者氏名：大橋啓太

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から 5 年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から研究参加辞退または研究同意撤回の申し出があった場合には、その患者さんに関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会などで発表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消された時点ですでに研究成果が論文や学会などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。なお、同意の拒否および撤回による不利益はありません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい時や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 リハビリテーション部

大橋 啓太

連絡先：079-451-5500